III ELIIY Power

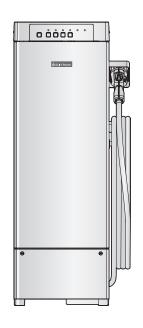
V2H蓄電システム

POWER iE Connect

パワーイエ・コネクト

取扱説明書

V2Hスタンド 品番 EPS-60V EPS-60VR



もくじ

安全上のご注意	2	
使用上のお願い	4	は
各部の名前(リモコン)	5	<i>b</i>
各部の名前(V2Hスタンド)	6	じめに
表示について	8	
EVへの充電(自動)~片付け	10	
今すぐ充電する	12	俥
EVから放電し家庭で使う	14	使い
充放電コネクタをロック・アンロックする	15	か
EV・蓄電池間で電力を移動する【eムーブ】	16	た
V2Hスタンドのボタン操作を禁止する	18	
充放電できない	19	こ
EVの電力でシステムを起動する	20	h
充放電コネクタの緊急離脱	22	なとき
充放電コネクタ・ケーブルの寿命	24	き
その他のトラブル	25	は
点検とお手入れのしかた	26	7/
EV接続時のご注意	27	必要
補助金申請関連	27	な
仕様	28	必要なときに
保証とアフターサービス	30	5
保証書	裏表紙	

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとう ございます。

- ■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ■で使用前に「安全上ので注意」(2~3ページ)を必ずお読みください。
- ■保証書(この取扱説明書裏表紙)は「系統連系日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この商品を利用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

This equipment is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other countries.

施工説明書別添付

保証書付き



FJ0424-1064

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度 を区分して、説明しています。

警告

「死亡や重傷を負うおそれがある 内容「です。

注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が 発生するおそれがある内容 です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

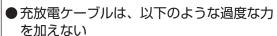
■V2Hスタンドの取り扱い時

感電、けが、火災、故障のおそれ

警告

- ●本体の上に乗ったり、もたれかかったりし ない
- 隙間に指や工具を入れない
- ●ぬれた手で触らない
- 充放電コネクタをぬらさない
- 充放電コネクタおよび車両給電口の電極部 に触れない
- 充放電ケーブルを束ねた状態、またはケー ブルフックに巻きつけた状態のままで使用 しない
- 充放電ケーブルがねじれている状態で無理 に引っ張らない

ケーブルがねじれている場合は、丁寧にねじれを ほどいてから使用してください。



- ・ ぶら下がる
- 引っ張る
- ・屈曲させる
- ・ 踏みつける
- 車両のタイヤでひくなど 特に低温時はご注意ください。
- ●日差しが強い日や寒い日は、本体、充放電 コネクタおよび充放電ケーブルを素手で触

やけどや凍傷のおそれがあります。

●適合する車両以外には使用しない 適合車両の情報は、当社ホームページよりご確認 ください(27ページ参照)

- 基礎部分につまずくなど思わぬ事故のおそれがあ
- ●ビニール袋、布、布団、服などで覆わない
- 心臓ペースメーカや植込み型除細動器(ICD) をお使いの方は、V2Hスタンドの運転中、 本体や充放電ケーブルに近寄らない V2Hスタンドからの電磁波がペースメーカなど に影響を与えるおそれがあります。
- ●日常点検は確実に行う

● お子様を近くで遊ばせない

● 充放電コネクタや充放電ケーブルの割れ、 欠けなどを発見した場合や異常が発生した 場合は、停止ボタンを押し、ただちに使用 を中止する

販売店にご相談ください。

- ●ブレーカ電流上限設定は、連系ブレーカの 許容電流を超えない値に設定する

必ず守る

●充放電ケーブルに付着した雨水などが凍結 している場合は、20~40 ℃程度のぬるま 湯で解凍してから使用する

充放電コネクタにお湯がかからないように注意し てください。

● 充放電コネクタの緊急離脱は、専用工具に 付属の説明書をよく読んで行う

感電のおそれがあります。

ネットリモコンに点検コードが表示されていた ら、よく確認してください。

※ 本説明書では、「リチウムイオン蓄電池ユニット」を「蓄電池ユニット」と記載しています。

感電、けが、火災、故障のおそれ

注意



- V2Hスタンドに振動や衝撃を与えない
- ●充放電コネクタを落としたり、踏みつけた り、振り回したりしない
- ●充放電コネクタを取り外すときは、強引に 引っ張らない

離脱ボタンを押しながら丁寧に取り外してください。



●充放電操作は車両の取扱説明書もよく読ん で行う

車両側の機器が故障する原因となります。

必ず守る ● 充放電コネクタを差し込むときは、「カチャ」 と音がするまで確実に奥まで差し込む

- 充放電コネクタを使用したあとは、コネク タホルダーに戻す
- 充放電ケーブルは、地面に触れないように ケーブルフックに巻き付ける(4回)



- ●アクセサリーケーブルを使用したあとは、 アクセサリーケーブル差込みコネクタのネ ジ蓋を確実に締める
- ●不要になったV2Hスタンドは、万一の倒壊 を防止するため、速やかに撤去する

■保守・点検時

感電、けが、火災、故障のおそれ

⚠警告



●水洗いや有機溶剤(ベンジンなど)または洗 剤などを使用して清掃しない



- ●お手入れは、システムの運転を停止してか ら行う。
- ●定期点検で異常や不具合があれば、直ちに 使用を中止する。

販売店や施工店にご相談ください。

発煙、けが、故障のおそれ

⚠注意



- ●動物の排泄物などの付着が考えられる場合は、点検頻度を増やす
- ●本体に植栽などの土がかからないように管理する サビなどの腐食が促進し、倒壊の原因になります。
- ●サビが発生した場合は、早期に補修する

免責事項

- ●お客様もしくは第三者が本機の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害に ついては、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いかねます。
- ●本システムの使用に際して接続した機器の故障などの補償や、本機の故障によって生じた本機以外の直接・ 間接の損害について、当社は一切その責任を負いかねます。
- ●本システムの不具合など何らかの原因で、車両内記憶装置・外部メディア・記録機器などに記録ができなかっ た場合やそれらに既に記録されていた内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容 の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切の責任を負いかねます。
- ●天候などにより発電量が少ない場合は、余剰電力による蓄電量が減り、買電量が増える場合があります。 以上、あらかじめご了承ください。

使用上のお願い

設置場所について

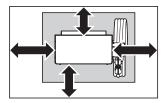
■V2Hスタンドは、放熱や点検用に右図に示すスペースが必要です。(上から見た図) 範囲内には物を置かないでください。

後方150 mm以上

■アマチュア無線のアンテナが近隣にあるところでは、無線機にノイズが発生するおそれがあります。

■動作障害を避けるため、ラジオ・携帯電話・電気的雑音の影響を 受けると困る電気機器などは、パワーコンディショナやV2Hスタ ンドの近くで使用しないでください。

■ 商用電源電力が無い場所や、日常的、定期的に長時間、高頻度の 停電が発生するような場所で使用しないでください。



前方:800 mm以上を推奨

移動可能な場合は200 mm以上

左右: 300 mm以上

移動可能な場合は150 mm以上

上方: 150 mm以上

V2Hスタンド使用時のお願い

- ■充放電コネクタが汚れていたり、水が付着したりしている場合は、乾いた布で拭き取ってから使用してください。
- ■清掃方法については「お手入れのしかた」(26ページ)を確認してください。
- ■積雪時は操作や吸気(V2Hスタンド下部)の妨げにならないように除雪してください。

お知らせ

ご注意

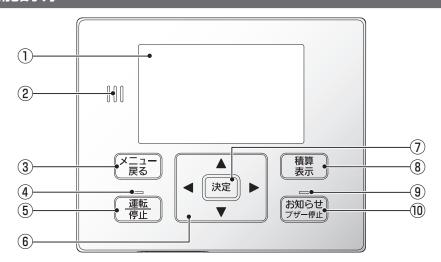
- ●運転中に下記の音(正常動作音)が聞こえることがありますが、異常ではありません。
 - ・「カチッ音」 : 運転の開始および停止のときにリレーから発生する音
 - ・「ジィージィー音」「キー音」: 高周波スイッチング動作により内部機器から発生する音
- ■停電時に機器を使用するためには自立運転の切換操作が必要です。
 - ●自立運転を行う際は、必ずリモコンで切換操作を行ってください。 ただし、自立運転の切換方法を自動切換に設定した場合は、切換操作は不要です。 (電力切替ユニットなしの場合は、自立運転の切換方法を自動切換にしないでください。) 詳細は「自動/手動切換設定」(パワーコンディショナ取扱説明書50ページ参照)をご確認ください。
- ■ご使用者が変わる場合は、必ず取扱説明書をご確認の上、操作してください。
 - ●特に、「安全上のご注意」(2ページ)、「免責事項」(3ページ)、「EV接続時のご注意」(27ページ) は必ずご確認願います。
- ■EV固有充電上限の値以上にEV蓄電池に充電したり、EV固有放電下限の値以下まで放電する ことはできません。対象車種固有の充電上限・放電下限は、当社ホームページからご確認く ださい。

■本書の見方

各機器の仕様やお手入れ方法は、各機器に同梱されている取扱説明書をご確認ください。 リモコンの画面や操作方法、点検コードなどについては、パワーコンディショナの取扱説明書をご確認ください。

▮各部の名前(リモコン)

リモコンの機能説明



※本書画面イラストはすべてイメージです。

ご注意

●リモコンはバックライト点灯中のみボタン操作可能です。 設定した時間(初期設定:1分)が経過すると、バックライトは消灯します。いずれかのボタンを押すと再点灯し、ボタン操作が可能になります。

ブザー音:お知らせ発生時(停電・復電・点検コード発生・蓄電池残量低下など)にブザーが鳴ります。

お知らせ ブザー停止 を押すと止まります。

操作しなくても、約1分間で自動停止(蓄電池残量低下時は自動停止しません)し、その後約5時間ごとに鳴ります。(ただし、21時〜翌朝7時の間は鳴りません)

①表示部(バックライト付き)

情報を表示します。

②ブザー

ボタンの操作音:正しい操作の時は「ピッ」と 1 回鳴り、誤った操作の時は、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」と 3 回鳴ります。

③メニュー/戻るボタン

トップ画面のときはメニュー画面に切り換わります。 それ以外では前の画面に戻ります。

④運転/停止ランプ

運転中、待機中は点灯。停止時は消灯します。

⑤運転/停止ボタン

運転または停止する時に使用します。

⑥方向ボタン

カーソル移動、数字合わせに使用します。

⑦決定ボタン

項目の選択後、決定時に使用します。

⑧積算表示ボタン

今までの発電量・放電量や買電・売電電力などが画 面に表示されます。

⑨お知らせランプ

お知らせが発生したら、ランプの点灯や点滅にて知らせます。

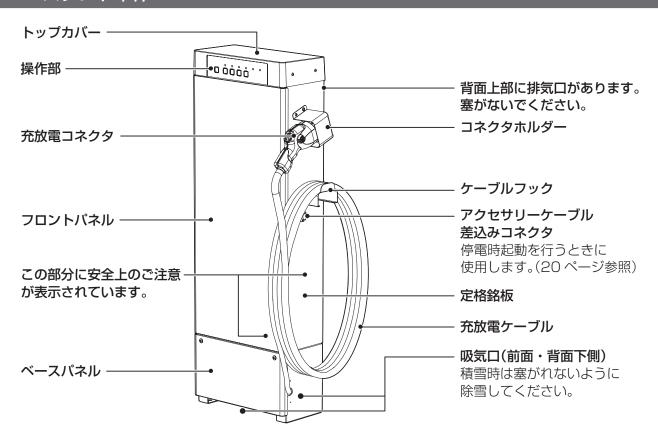
⑩お知らせ/ブザー停止ボタン

[お知らせ]ランプが点灯・点滅時、お知らせ内容が画面に表示されます。

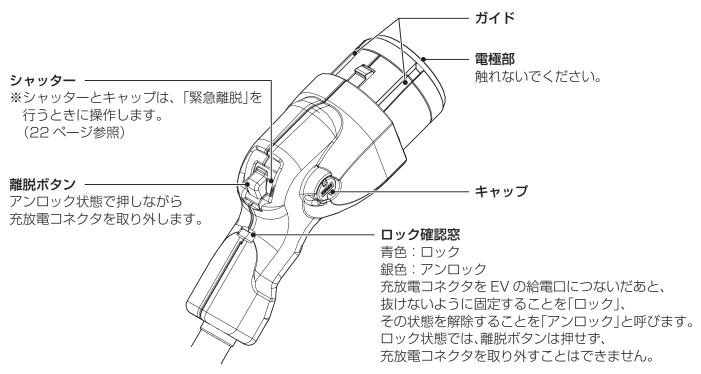
ブザーが鳴動している場合は、ブザー音が停止します。

▲ 各部の名前(V2Hスタンド)

V2Hスタンド本体

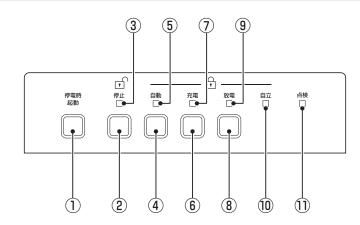


充放電コネクタ



●以下、V2Hスタンドに接続可能な電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド車(PHEV)をEVと記載します。

操作部



※ リモコンからボタン操作を禁止することができます。 ボタンを押した後、LEDが点灯しない場合は、リモコンのV2H スタンド操作許可設定を確認してください。(18ページ参照)

①停電時起動ボタン

停電により電力供給が断たれ、システムが停止したときにアクセサリーケーブルでEVと接続して停電時起動ボタンを押すと、接続しているEVから電源供給を受けてシステムを起動できます。(20ページ参照)

②停止ボタン

設定した運転モードによるV2Hスタンドの運転やEVの充電・放電を停止します。 充放電コネクタはアンロックされます。 また、一部の点検コードへの対処に使用します。

③停止LED

V2Hスタンドの停止中、緑色に点灯します。

4自動ボタン

充放電コネクタをEVに接続して自動ボタンを押すと、 充放電コネクタがロックされ設定した運転モードで運 転します。

⑤自動LED

設定した運転モードで運転中、赤色に点灯します。

⑥充電ボタン

充放電コネクタをEVに接続して充電ボタンを押すと、 充放電コネクタがロックされEVに充電します。

⑦充電LED

手動で充電中、赤色に点灯します。

⑧放電ボタン

充放電コネクタをEVに接続して放電ボタンを押すと、 充放電コネクタがロックされEVから放電します。

9放電LED

手動で放電中、赤色に点灯します。

⑩自立LED

システムの自立運転中、赤色に点灯します。

们点検LED

リモコンにお知らせが表示されているとき、赤色に点滅します。

- 蓄電池およびEV蓄電池の蓄電量により、自動ボタンや放電ボタンの押下時に、充電が開始されることがあります。 また、電圧上昇抑制運転時にも充電されることがあります。
- 充放電コネクタを接続しないで、ボタン操作を繰り返し行うと、点検LEDが点滅しリモコンに点検コードを表示することがあります。(9 ページ参照)

■付属品(必要な時にいつでも取り出せるよう大切に保管してください)

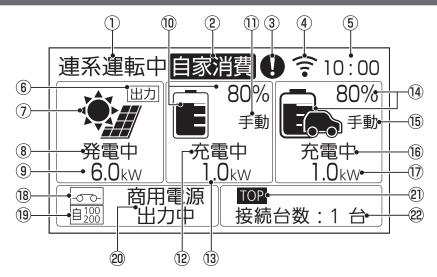
名称	形状	員数
緊急離脱工具セット		1
特殊ドライバー		1
専用工具		1
取扱説明書		1

名称	形状	員数
アクセサリーケーブル		1
取扱説明書(保証書付き、	本書)	1
かんたんガイド		1
施工説明書		1

表示について

リモコンのボタンの機能などは5ページをご確認願います。

連系運転時の画面説明



表示時刻が正しいことを定期的に 確認してください。

※液晶画面に表示される内容や レイアウトは、V2Hシステム を構成する機器の有無や運転状 態に応じて変わります。 本書では例として、別売の蓄電 池ユニットなどを接続した構成 での画面で説明しています。

①運転状態

連系運転中-連系運転状態

連系待機中ー太陽光、蓄電池、商用電源が全て待機

連系停止中ー連系運転が手動または異常により停止 した状態

自立運転中一自立運転状態

自立停止中ー自立運転中に停止操作を行った状態

維持運転中一維持充電状態

運転中 -eムーブ運転状態

②モード表示

自家消費/タイマー/外部制御/蓄電充電/eムーブ /EV充電

③お知らせ発生時にアイコン表示

お知らせ _{ブザー停止}を押すと発生内容が表示されます。

(9ページ参照)

4 ネットワーク接続状態

設定状態	接続時表示	未接続時	
有線LAN	묢	⊸	
無線LAN	कि क	<u>چ</u>	
ネットワーク無効	表示なし		

⑤ 現在の時刻

⑥出力制御表示

リモコンにより電力会社からの出力制御が働いてい る場合に表示されます。

⑦太陽光発電表示

⑧太陽光運転状態

発電中/待機中/停止中 発電電力が O kWのときでも発電中と表示される場 合があります。

⑨太陽光発電電力

直流の電力値が表示されます。

⑩蓄電池残量(目安。単位:%)











① 蓄電池手動操作状態

蓄電池ユニットの手動操作時に表示します。

12 蓄電池状態

充電中/放電中/待機中/停止中

③ 蓄電池充放電電力

直流の電力値が表示されます。

(4) EV蓄雷池残量(目安。单位:%)







 $1 \sim 37$





63~87

88~100

EV未接続

15 EV蓄電池手動操作状態

EV蓄電池の手動操作時に表示します。

16 EV蓄雷池状態

充電中/放電中/停止中/待機中

①EV蓄電池充放電電力

直流の電力値が表示されます。

18 リンクユニット状態

リンクユニット接続時に表示されます。

00 リレーON リレーOFF (接続) (切断)

⑩抑制/自立出力表示

|抑制 |: 連系運転時の抑制をしている際に表示されま

-0;0-

状態不明

|自100||: 自立運転時に 100/200 V出力する場合に 表示されます。

|自100|:自立運転時に 100 V出力する場合に表示さ れます。

20入出力状態

(入出力先は、商用電源/バックアップ回路)

入力中-電力会社からの電力を充電中

出力中-太陽光発電電力、蓄電池放電電力を分電盤 へ出力中

待機中一発電状況、充放電設定時間、電気機器の使 用状況に応じて入出力可能な状態

停止中一入出力を停止している状態

②選択機器

パワーコンディショナの場合、TOP と表示されます。

②接続台数

接続された機器数が表示されます。 (本機種は 1 台のみです)

※②と②の位置には運転状況に応じて

- ・各種のお知らせ情報
- ・自立運転時の蓄電池およびEV蓄電池の使用可能時間 が表示されます。(下記参照)

お知らせ情報表示について

お知らせ発生時には、お知らせアイコンと共にお知らせ情報を表示します。

お知らせ _{ブザー停止}を押すと発生内容を表示します。

お知らせがあります 10H101

お知らせ通知

システム異常が発生しました。 点検コードを表示します。

停電または復電が 発生しています

停電/復電検知

停電または復電を検知しました。 手動で自立運転または連系運転への切換 が必要です。

蓄電池の異常が 発生しています

蓄電池異常

蓄電池異常が発生しました。 蓄電池を切り離して運転を継続可能 です。

スタンドの異常が 発生しています

V2Hスタンド異常

V2Hスタンドに異常が発生しました が、切り離して運転継続可能です。

電気の使い過ぎに ご注意ください

過負荷警告

放電可能な電力の上限に近づくと表 示されます。使用する機器を増やす と過負荷で停止する可能性がありま すので、使用する機器の目安にして ください。

○○○残量が 低下しています

自立運転時の電池残量低下

蓄電池またはEV蓄電池の残量が低下 しています。

連系運転開始まで XXX 秒

連系復帰待機時間

連系運転復帰中です。連系運転開始 までの秒数を表示します。

期限が近づいています

出力制御スケジュールの 出力制御スケジュール更新必要

出力制御スケジュールの残り日数が 30 日以下となっています。

最新のファームウェア があります

ファームウェア更新可能

新しいファームウェアに更新してく ださい。(更新しないことも選択可能)

使用可能時間 : 🙈 :

自立時蓄電池/EV使用可能時間

自立運転時の蓄電池およびEV蓄電池 の使用可能時間の目安です。

点検・交換のお知らせ

蓄電池・充放電コネクタの停止予告 蓄電池の点検停止、または充放電コ

ネクタ交換時期のお知らせです。

商用電源を 確認しています

商用電源安定待ち

商用電源が安定すれば運転を開始し ます。しばらくお待ちください。

EVへの充電(自動)~片付け

設定した運転モードでシステムを運転中に、EVに自動で充電(放電)します。
※EV側での操作が必要な場合もありますので、充電・放電を行う前にEVの取扱説明書をよくご確認ください。

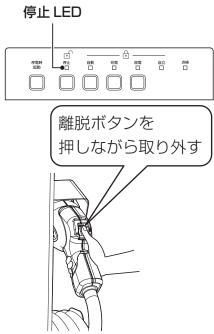
充放電コネクタを接続する

1 停止LED(緑色)が点灯していることを 確認する

LED表示状態については 7ページをご確認ください。

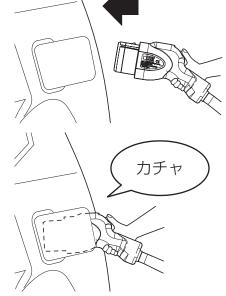
2 充放電コネクタを コネクタホルダーから取り外す

離脱ボタンを押しながら取り外してください。



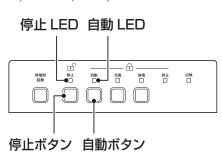
- 3 ケーブルフックに巻き付けてある充放電ケーブルを取り外す
- 4 2 か所のガイドをEVの給電口の溝に 合わせながら充放電コネクタを差し込む

差し込みづらい場合もあります。「カチャ」と音がして、 確実に固定されたことを確認してください。 (固定不十分の状態では、充電などを行うことはできません。)



5 操作部の自動ボタンを押す

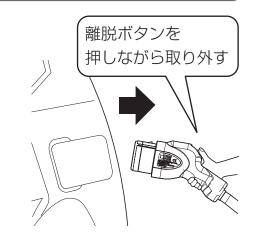
自動LEDがしばらく点滅したあと赤色点灯し、 設定した動作を行います。 充放電コネクタはロックされます。(6 ページ参照) 操作部の停止ボタンを押すと、V2Hスタンドは待機状態に戻り、 停止LED(緑色)が点灯します。



充放電コネクタを片付ける

6 停止ボタンを押し、給電口から 充放電コネクタを取り外す

EVの充電状態は、リモコンのトップ画面で確認してください。 充放電コネクタはアンロック(ロック解除)されます。 停止LED(緑色)の点灯後、離脱ボタンを押しながら



取り外してください。

充放電ケーブルが地面につかないように 推奨回数(4回)巻き付けてください。

充放電コネクタの 2 か所のガイドがコネクタホルダーの溝に合うように戻し、「カチャ」と音がして、確実に固定されたことを確認してください。



今すぐ充電する

「少し遠くまで出かけることになったので、EVを満充電にしておきたい」、「台風による停電に備えて、蓄電池を満充電にしておきたい」など、すぐにEVおよび蓄電池を充電したいときには、手動で充電が可能です。

EVを手動で充電する

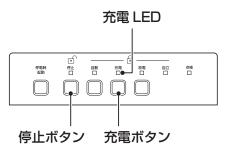
■ EVの給電口に充放電コネクタを差し込む

詳しい接続方法は 10 ページを参照してください。 既に充放電コネクタがEVに接続されている場合は、 手順2 へ進んでください。



充電が開始され、充電LEDが赤色に点灯します。

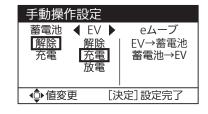




リモコンの

TOP > メニュー (1/3) > 手動操作 / V2H操作設定 > 手動操作設定 からも充電を開始できます。

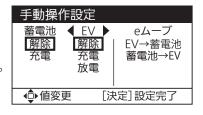
※リモコンからEV蓄電池の充放電操作を行う場合は、 別途、充放電コネクタをロックする必要があります。(15 ページ参照)



●リモコンの

TOP > メニュー (1/3) > 手動操作 / V2H操作設定 > 手動操作設定 から解除を選択することで設定した運転モードに戻ります。

●操作部の停止ボタンを押すと、充電を終了し、コネクタをアンロックします。



3 充電が終了したことを確認する

充電が終了すると、待機状態になります。 充電の状況は、トップ画面に戻ってEV蓄電池残量の表示を確認してください。 充放電コネクタをEVから取り外す場合は、11 ページを参照してください。

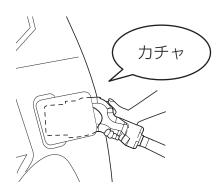
EVと蓄電池を手動で同時に充電する

● 充電時における、EVと蓄電池の充電優先度は以下で設定した値になります。 ・ 充放電優先度設定(パワーコンディショナ取扱説明書39 ページ参照)

充放電優先度設定 充電時 放電時 蓄電池 EV 蓄電池 EV 50% : 50% 100% : 0% ↓ 値変更 [決定]設定完了

I EVの給電口に充放電コネクタを差し込む

詳しい接続方法は 10 ページを参照してください。 既に充放電コネクタがEVに接続されている場合は、 手順2 へ進んでください。



2 リモコンを操作して充電を開始する

TOP > メニュー (1/3) > 手動操作 / V2H操作設定 > 手動操作設定



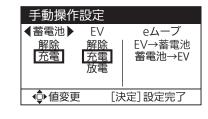
決定 を押してください。

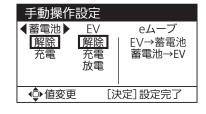
・蓄電池: 充電・EV : 充電

「設定を受付けました。」メッセージ表示後、充電が開始されます。 ※充放電コネクタをロックする必要があります。(15ページ参照)

●「手動操作設定」画面で以下のように設定して **決定** を押すと、 充電を停止し、あらかじめ設定された運転モードに戻ります。

・蓄電池:解除・EV :解除





3 充電が終了したことを確認する

充電の状況は、トップ画面に戻って蓄電池残量およびEV蓄電池残量の表示を確認してください。 充放電コネクタをEVから取り外す場合は、11ページを参照してください。

EVから放電し家庭で使う

EVに充電した電力を手動で放電することで、家庭で活用することができます。

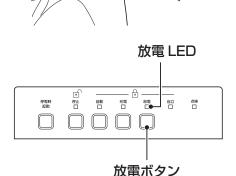
EVから手動で放電する

EVの給電口に充放電コネクタを差し込む

詳しい接続方法は 10 ページを参照してください。 既に充放電コネクタがEVに接続されている場合は、 手順2 へ進んでください。

2 操作部の放電ボタンを押す

放電が開始され、放電LEDが赤色に点灯します。



4 EV ▶

解除

eムーブ

EV→蓄電池

蓄電池→EV

[決定] 設定完了

手動操作設定

蓄電池

●値変更

カチャ

リモコンの

<u>TOP > メニュー(1/3)> 手動操作/V2H操作設定 ></u> 手動操作設定

からも放電を開始できます。

※充放電コネクタをロックする必要があります。(15ページ参照)

●操作部の停止ボタンを押すと、放電を終了し、 コネクタをアンロックします。 リモコンの

TOP > メニュー (1/3) > 手動操作 / V2H操作設定 > 手動操作設定

からも放電を停止できます。

3 放電が終了したことを確認する

放電が終了しても、わずかに放電することがあります。 放電の状況は、トップ画面に戻って蓄電池残量の表示を確認してください。 充放電コネクタをEVから取り外す場合は、11 ページを参照してください。

充放電コネクタをロック・アンロックする

リモコンからEVの充電・放電操作を行うためには、充放電コネクタをロックする必要があります。 手動操作設定とコネクタロック操作のどちらを先に行っても構いません。

充放電コネクタをロックする

リモコンを操作して 充放電コネクタにロックをかける

> TOP > メニュー (1/3) > 手動操作 / V2H操作設定 > コネクタロック操作

で「ロック」を選択し、|| 決定 || を押してください。



「コネクタをロックしました。」メッセージ表示後、 充放電コネクタにロックがかかります。

※パワーコンディショナが運転中のみロックすることができます。 停止中や維持充電中はロックできません。



コネクタをロックしました。

充放電コネクタをアンロックする(ロック解除)

■ リモコンを操作して 充放電コネクタのロックを解除する

TOP > メニュー (1/3) > 手動操作 / V2H操作設定 > コネクタロック操作

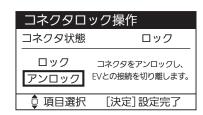


で「アンロック」を選択し、



決定 を押してください。

「コネクタをアンロックしました。」メッセージ表示後、 充放電コネクタのロックが解除されます。



コネクタをアンロックしました。

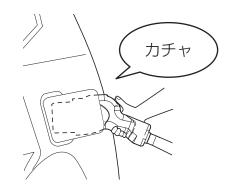
| EV・蓄電池間で電力を移動する【eムーブ】

EVの電力を手動で蓄電池に移す

外出先などでEVに充電した電力を手動で、EVから蓄電池へ移動させることができます。

1 EVの給電口に充放電コネクタを差し込む

詳しい接続方法は 10 ページを参照してください。 既に充放電コネクタがEVに接続されている場合は、 手順2 へ進んでください。



eムーブ

EV→蓄電池

[決定] 設定完了

手動操作設定

解除

充電

放雷

蓄電池

解除充電

●値変更

2 リモコンを操作してEVの電力を蓄電池に移す

<u>TOP > メニュー(1/3)> 手動操作/V2H操作設定 ></u> 手動操作設定



決定を押してください。

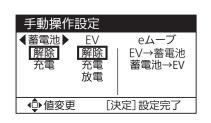
·eムーブ: EV→蓄電池

「設定を受付けました。」メッセージ表示後、電力の移動が開始されます。 ※充放電コネクタをロックする必要があります。(15ページ参照) ※eムーブの状態では太陽光発電電力の売電はできません。

●「手動操作設定」画面で以下のように設定して (決定) を押すと、

電力の移動を停止し、あらかじめ設定された運転モードに戻ります。

- ・蓄電池:解除・EV:解除
- ※リモコンの操作を行わずに、V2Hスタンドの停止ボタンを押した場合、電力の移動は停止しますが、設定の運転モードには戻りません。



3 電力の移動が終了したことを確認する

電力の移動が終了すると、待機状態になります。

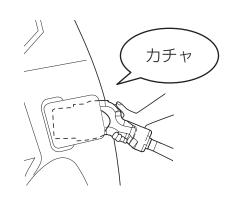
電力の移動の状況は、トップ画面に戻って蓄電池残量およびEV蓄電池残量の表示を確認してください。 充放電コネクタをEVから取り外す場合は、11ページを参照してください。

蓄電池の電力を手動でEVに移す

蓄電池に充電した電力をEVへ移動させることができます。 太陽光発電による電力をEVに移動させれば、環境に優しい再生可能エネルギー(グリーンエネルギー)を使用して EVを運転できます。

1 EVの給電口に充放電コネクタを差し込む

詳しい接続方法は 10 ページを参照してください。 既に充放電コネクタがEVに接続されている場合は、 手順2 へ進んでください。



手動操作設定

EV

解除

充電

放雷

◀ eムーブ ▶

[決定] 設定完了

蓄電池

解除 充電

●値変更

2 リモコンを操作して蓄電池の電力をEVに移す

TOP > メニュー (1/3) > 手動操作 / V2H操作設定 > 手動操作設定



で以下のように設定し、

決定

を押してください。

·eムーブ:蓄電池→EV

「設定を受付けました。」メッセージ表示後、電力の移動が開始されます。 ※充放電コネクタをロックする必要があります。(15 ページ参照) ※eムーブの状態では太陽光発電電力の売電はできません。

●「手動操作設定」画面で以下のように設定して



を押すと、

電力の移動を停止し、あらかじめ設定された運転モードに戻ります。

- · 蓄電池: 解除
- · EV:解除
- ※リモコンの操作を行わずに、V2Hスタンドの停止ボタンを押した場合、 電力の移動は停止しますが、設定の運転モードには戻りません。



3 電力の移動が終了したことを確認する

電力の移動が終了すると、待機状態になります。 電力の移動の状況は、トップ画面に戻って蓄電池残量およびEV蓄電池残量の表示を確認してください。 充放電コネクタをEVから取り外す場合は、11 ページを参照してください。

V2Hスタンドのボタン操作を禁止する

V2Hスタンドを操作されたくないときに、V2Hスタンドのボタン操作を禁止することができます。

●V2Hスタンドのボタン操作を禁止しても、停止ボタンおよびリモコンからの操作は有効です。

V2Hスタンドのボタン操作を禁止する

リモコンを操作してV2Hスタンドのボタン操作を禁止する

TOP > メニュー (1/3) > 手動操作 / V2H操作設定 > V2Hスタンド操作許可設定

▲ ▼

で「禁止」を選択し、



「設定を受付けました。」メッセージ表示後、 V2Hスタンドのボタン操作が無効になります。

V2Hスタン	ド操作許可設定
禁止	第三者の利用を防ぐため V2Hスタンドからの 操作を禁止します。 (「停止」操作のみ可能)
♀ 項目選択	[決定] 設定完了

V2Hスタンドのボタン操作を許可する

1 リモコンを操作して V2Hスタンドのボタン操作を許可する

TOP > メニュー (1/3) > 手動操作 / V2H操作設定 > V2Hスタンド操作許可設定

•

で「許可」を選択し、



を押してください。

「設定を受付けました。」メッセージ表示後、 V2Hスタンドのボタン操作が有効になります。 V2Hスタンド操作許可設定 許可 禁止 V2Hスタンドからの 操作を許可します。

充放電できない

EVを充電できない

■使用温度範囲

V2Hスタンドを設置している場所の気温が、使用温度範囲 $(-20\sim +50~^{\circ})$ 外になっている可能性があります。 気温が動作温度範囲内に戻ると自動的に運転を再開します。

システムを構成する他の機器の使用温度範囲については、各機器の取扱説明書をご確認ください。

■リモコンの設定

● EV充電上限(パワーコンディショナ取扱説明書37 ページ参照) EV充電上限(常時)(同39 ページ参照): 「EV充電上限1で設定されている値以上にEVを充電することはできません。

自家消費モ	ード(EV充電上限)
EV固有 充電上限 95 %	EV充電上限 (50%~100%) 80%
ﯘ値変更	[決定] 設定完了

■充放電コネクタの状態

EVの給電口に差し込んだ充放電コネクタに、ロックがかかっていない可能性があります。リモコンを操作して、 充放電コネクタにロックをかけてください。(15ページ参照)

■EVの充電が遅い

EVがなかなか満充電にならない時には、「充放電優先度設定」の充電時でEVの比率が小さい可能性があります。 設定をご確認ください。

また、低温時には、蓄電池の保護のために充電に時間がかかることがあります。

■EV蓄電池への充電が 100%にならない

昼間にEV蓄電池が 100%まで充電されない場合は、夜間の放電量を減らすため、放電下限設定値を上げてください。

EVから放電できない

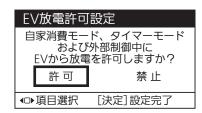
■使用温度範囲

V2Hスタンドを設置している場所の気温が、使用温度範囲 $(-20\sim +50~^{\circ})$ 外になっている可能性があります。 気温が動作温度範囲内に戻ると自動的に運転を再開します。

システムを構成する他の機器の使用温度範囲については、各機器の取扱説明書をご確認ください。

■リモコンの設定

●EV放電許可設定(パワーコンディショナ取扱説明書38 ページ参照): 「EV放電許可設定」を「禁止」に設定している場合、設定した運転モードおよび 外部制御による運転中に、EVから放電を行うことができません。「許可」に設 定してください。



■充放電コネクタの状態

EVの給電口に差し込んだ充放電コネクタに、ロックがかかっていない可能性があります。リモコンを操作して、 充放電コネクタにロックをかけてください。(15ページ参照)

■余剰電力の売電中

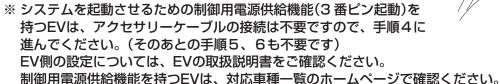
太陽光発電の余剰電力を発電中は、EVから放電できません。 余剰電力の売電が終了するまでお待ちください。

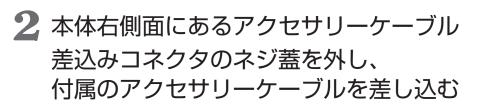
EVの電力でシステムを起動する

太陽光による発電がなく、蓄電池からの電力供給もなく、かつ、V2Hスタンドの充放電コネクタがロックされていない状態(アンロック)で停電すると、システムが停止します。 このようなときは、アクセサリーケーブルを用いてEVから給電することで、システムを起動できます。 これを「停電時起動」と呼びます。

1 EVの給電口に充放電コネクタを差し込む

詳しい接続方法は 10 ページを参照してください。 既に充放電コネクタがEVに接続されている場合は、 手順2 へ進んでください。

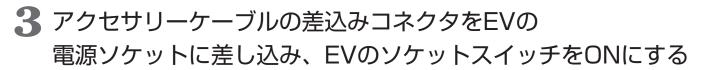




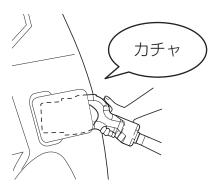
ネジ蓋は反時計回りに回して外してください。 アクセサリーケーブルの屋外用防水コネクタ側を差し込んでください。

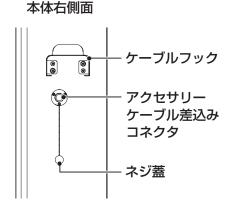


●雨天時などは、アクセサリーケーブルのコネクタ(屋外用防水コネクタおよび差込みコネクタ)に 水分が付かないようにご注意ください



アクセサリーケーブルはEVの窓に通してください。 電源ソケットの位置、アクセサリーケーブルの差し込み方、およびソケットスイッチの 位置・操作方法については、EVの取扱説明書をご確認ください。

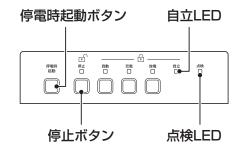




4 操作部の停電時起動ボタンを押す

EVからの放電が開始されるとV2Hスタンドが起動し、 自立LEDが赤色に点滅します。

● 点検LEDが点滅している場合は、停電時起動を実施できない場合があります。停止ボタンを 5 秒以上長押しして点検LEDの点滅を消してから、再び停電時起動ボタンを押してください。



それでも実施できない場合は、EVのソケットスイッチをOFFにし、アクセサリーケーブルを取り外して、 V2HスタンドのLEDが消灯するまで(3分程度)待ってから、やり直してください。

5 自立LEDの点灯(赤色)を確認したあと、EVのソケットスイッチ をOFFにし、アクセサリーケーブルを取り外す

システムが起動し、リモコンで操作可能になります。 停電中は自立運転を行います。 自立運転の詳しい説明はパワーコンディショナ取扱説明書24~30 ページをご確認ください。

- ●EV側の電力(補機バッテリー=12Vバッテリー)を消費しますので、起動後はEVのソケットスイッチをOFFにし、アクセサリーケーブルを取り外してください。
- 6 アクセサリーケーブル差込みコネクタのネジ蓋を確実に閉める

充放電コネクタの緊急離脱

V2Hスタンドまたはリモコンの操作により充放電コネクタのロックを解除したにもかかわらず、離脱ボタンを押しても充放電コネクタがEVから取り外せない故障が発生する可能性があります。付属の緊急離脱工具セットは、このような場合に、緊急で取り外す(緊急離脱)ための工具です。急を要していない場合は、使用する前にお買い上げの販売店にご相談ください。

必ず事前にお読みください

緊急離脱工具セットは、すぐに取り出し可能な所に大切に保管してください。 セットの袋を開封する前に、必ず本説明、またはセットに同梱の説明書をお読みください。

- ●緊急離脱を行う前に、必ずリモコンの点検コードを確認してください。
- 緊急離脱を行った場合、その充放電コネクタは使用できなくなり、当社サービスによる調整・点検が必要になります。(緊急離脱実施の理由および保証期間にかかわらず有償となります)
- ■緊急離脱は必ず、下記の「緊急離脱に関する安全上のご注意」をお読みいただき、次ページの「充放電コネクタを緊急離脱する」の手順に沿って実施してください。
- ■緊急離脱工具セットが入った袋の開封により、本書記載内容を確認・同意いただいたことになります。

緊急離脱に関する安全上のご注意

⚠警告

- ●操作部の自動LED・充電LED・放電LED・自立LEDが点灯している場合は、緊急離脱を実施しない 感電のおそれがあります。
- 緊急離脱が禁止されている点検コード表示時は、緊急離脱を実施しない 感電のおそれがあります。点検コードは、下記「緊急離脱の実施前に」を確認してください。
- 充放電コネクタをぬらしたり、ぬれた手で触ったりしない 感電のおそれがあります。



- 充放電コネクタの電極部分に触れない 感電のおそれがあります。
- 充放電コネクタを落とさない けがのおそれがあります。
- 充放電コネクタ内部の部品やケーブルを傷つけない 感電のおそれがあります。
- ●取り外した部品や工具は、子供の手の届くところに置かない けが・誤飲のおそれがあります。

■緊急離脱の実施前に

以下を確認してください。

①リモコンに、以下の点検コードが表示されている場合は、感電のおそれがありますので、 お客様ご自身では行わず、お買い上げの販売店にご相談ください。

緊急離脱禁止の点検コード(以下、下3桁の数字部分を示す)

·716 ·717 ·718

②以下の点検コードが表示されている場合は、感電のおそれがありますので、 機器やケーブルには触れずに充放電ケーブルの亀裂等の外観異常を確認してください。

外観異常確認の点検コード

·706 ·707 ·715 ·719 ·746 ·765 ·766

外観異常がある場合は機器には触れず、お買い上げの販売店にご相談ください。 異常がなければ、リモコンの表示に従い操作してください。

操作しても点検コードの表示が消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

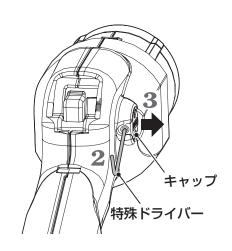
- ③表示されている点検コードが上記以外または、点検コードが表示されていない場合は、V2Hスタンドの停止ボタンを押して、充放電コネクタが外せないか確認してください。
- ④ V2Hスタンドの停止ボタンを押しても充放電コネクタを外せない場合は、次ページの「充放電コネクタを緊急離脱する」をよく確認し、付属の工具による緊急離脱を実施してください。

充放電コネクタを緊急離脱する

- 1 V2Hスタンドにアクセサリーケーブルが接続されていたら取り外す
- 2 付属の特殊ドライバーを使用して、 充放電コネクタのキャップを 固定しているネジを外す

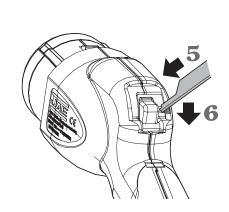
ネジは反時計回りに回して外してください。

- ●他のネジには触れないでください。
- ●外したネジは無くさないように保管してください。
- 3 キャップを右側へ引き出す
 - ●キャップを動かすと音がしますが、問題ありません。
- 4 付属の専用工具を使用して 離脱ボタンの右横にある シャッターを押し下げる





- 5 シャッターを押し下げて開いた穴に 専用工具を奥まで差し込む
- 6 差し込んだ専用工具を押し下げながら、 充放電コネクタをゆっくり引き抜く
 - ●充放電コネクタはコネクタホルダーには戻さず、 ケーブルフックに掛けてください。



■緊急離脱の実施後は

当社サービスによる調整・点検が必要になりますので、お買上げの販売店にご相談ください。 緊急離脱実施の理由および保証期間にかかわらず、有償となります。

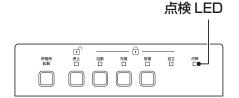
充放電コネクタ・ケーブルの寿命

充放電コネクタ・ケーブルには寿命があり、寿命に達するとV2Hスタンドが停止して使用できなくなります。 寿命に達する前に充放電コネクタ・ケーブルを交換(有償)する必要がありますので、寿命が近づいて来たら早めにお 買い上げの販売店または修理ご相談窓口(30 ページ)にご連絡ください。

充放電コネクタ・ケーブルの寿命が近づいた場合

充放電コネクタ・ケーブルが以下に該当すると、適宜リモコンにお知らせが表示され、操作部の点検LEDが赤色に点滅します。

・充放電コネクタの抜き差しが9700回に達した



お知らせ確認

V2Hスタンドのコネクタ・ケーブルの 交換時期が近づいています。 交換しない場合、安全のため V2Hスタンドを停止します。

[決定]次へ

充放電コネクタ・ケーブルが寿命に達した場合

以下に該当すると、充放電コネクタ・ケーブルは寿命となります。 リモコンにお知らせが表示され、V2Hスタンドが停止します。

- ・ 充放電コネクタの抜き差しが 1 万回に達した
- ※「V2Hスタンド異常切り離し運転」を行います。

自動でV2Hスタンドを切り離し、残りの機器のみでシステムの運転を継続します。

充放電コネクタ・ケーブルの交換は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口(30ページ)にご連絡ください。

|その他のトラブル

■充放電コネクタが濡れた

乾いた布などで、ていねいに水分をふき取ってください。

●そのまま使用すると感電の原因となります。

■充放電コネクタを落とした

充放電コネクタのロック確認窓が青色(ロック)になり、ロックがかかった状態になる場合があります。 その場合は、V2Hスタンドの停止ボタンを押してアンロックしてください。ロック確認窓が銀色(アンロック)に変わります。

- 充放電コネクタのロック確認窓が青色(ロック)のままコネクタホルダーに収納してしまった場合も同様に、コネクタのロックを解除してください。
- 充放電コネクタがひび割れたり、欠けたりした場合は、そのまま使用せずにお買い上げの販売店にご相談ください。

■充放電コネクタをロックできなかった

充放電コネクタの保護のため、アンロック後から次のロックまで約25 秒の間隔をあける仕様としています。 動作するまでしばらくお待ちください。

また、V2Hスタンドは施工後に試運転を実施しないとご利用できません。ご不明の場合は、お買上げの販売店、施工店にご確認ください。

■雨水や雪などで充放電ケーブルが凍り付いた

20~40 ℃程度のぬるま湯をかけて、解凍してから使用してください。

- ●充放電コネクタの電極部には、ぬるま湯がかからないようにしてください。
- ●解凍せずに充放電ケーブルを使用すると、ケーブルが傷ついたり、劣化したりするおそれがあります。

■充放電ケーブルに傷が付いた

傷がついた充放電ケーブルは感電や事故などの原因となりますので、そのまま使用せずにお買い上げの販売店に ご相談ください。

● 充放電ケーブルを引きずったり、踏みつけたり、自動車のタイヤでひいたりすると、充放電ケーブル表面の被 覆が痛みますのでご注意ください。

■車両とV2Hスタンドの通信を示す表示が消えた

自家消費モードで放電下限まで放電し、太陽光の余剰電力がない場合や、手動充電モードで満充電に到達した場合など、充電も放電もできない状態が一定時間継続した場合、本製品は車両との通信を停止する仕様としています。このため、車両側の動作表示が消える(LED消灯など)場合があります。この様な場合でも再び充放電が可能な状況になると、車両との通信を再開し充放電を行います。

■操作内容にかかわらず車両が充電される

放電下限設定値付近より低い残量の場合、残量確保のため充電を行います。放電下限設定値は車両固有の放電下限と関係しますので、合わせてご確認ください。連系運転中は買電が発生する場合があります。

点検とお手入れのしかた

異常・故障時には、直ちに運転を停止し太陽光発電システム連系ブレーカをOFF(切)にして、お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。

特に台風や地震、落雷などの自然災害の後は、販売店または施工店による点検をお勧めします。水没時は感電のおそれがありますので、本体に近づかず、水が引いても触らないでください。

日常点検

安心してお使いいただくために、日常の点検をお願いします。

- ■機器の近くに灯油やスプレー缶などの燃えやすいものは置かれていませんか?
- ■異音・異臭はありませんか?
- ■充放電コネクタ先端の電極部に異物などが付着していませんか?
- 充放電コネクタやケーブルに傷などはありませんか?
- ■吸気口・排気口は塞がっていませんか? ⇒吸排気していますので、積雪時は除雪をお願いします。(6 ページ参照)
- ■リモコンに点検コードが表示されていませんか? ⇒点検コードは、パワーコンディショナ取扱説明書54ページ参照。

定期点検

長期にわたり安全にご使用いただくために定期的な点検が必要です。

- ■周囲温度は-20~+50 ℃、湿度は90%以下(結露なし)ですか?
- ■点検スペースは確保されていますか?⇒4ページ参照。
- ■傷やへこみ、割れ、さびなどはありませんか? ⇒必要に応じて部品交換などを依頼してください。
- ※ 自立運転は、1年に1回程度を目安に動作できることをご確認ください。(パワーコンディショナ取扱説明書 27ページ参照)

その際、「EVの電力でシステムを起動する」(20ページ)を実施する場合は、パワーコンディショナ取扱説明書27ページ「自立運転の点検について」に沿って各ブレーカをOFF(切)し、システムを停止してください。 太陽光や蓄電池からの電力供給がある場合は、システムを停止できません。

お手入れのしかた

ご注意

- ●運転を停止し、必ず機器が冷えてから行ってください。お手入れ後、運転を再開してください。(パワーコンディショナ取扱説明書53ページ参照)
- ●ベンジン、シンナーや洗剤を使用しないでください。また水をかけないでください。
- V2H スタンドおよび周囲への融雪剤散布は、錆が発生するおそれがあるためお控えください。

リモコンやパワーコンディショナなどのお手入れのしかたは、それぞれの機器に付属の取扱説明書をご確認ください。

■V2Hスタンド

●乾いた布または固く絞ったやわらかい布で本体を拭いてください。 水を直接かけたり、高圧式洗浄装置や洗剤、薬品類(スプレー剤などを含む)は使わないでください。

(汚れがひどい場合は)

やわらかい布を水にひたし、よく絞って汚れを拭き取ってください。その後、乾いたやわらかい布で水分を拭き取ってください。

EV接続時のご注意

■V2Hスタンドに接続可能な電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド車(PHEV)は、当社公表の対象車種に限ります。

対象車種は、当社ホームページでご確認ください。

https://www.eliiypower.co.jp/products/support/pic-whitelist

今後発売される車両については、全ての車種の接続をお約束するものではありません。

接続確認ができた車両については、順次当社ホームページで公開してまいります。



- ■本システムをご使用になる前に、必ず接続車両の取扱説明書をご確認ください。対象車種以外の車種が接続されたことによる不具合等に対して、当社は一切の責任を負いかねます。
- ■充放電コネクタや手が濡れた状態では、使用しないでください。 感電のおそれがあります。

もし、水分や雪などが付いた場合は、必ず乾いた布で十分に拭きとってください。強い風雨 の場合は、十分ご注意ください。

- ■雷鳴時(使用時間中に予想される場合も含む)は、使用しないでください。
- ■車両充電中にリモコンに表示される充電電力の変化が大きくなることがありますが、本システムの電力制御によるもので異常ではありません。
- ■新たにEVを接続される場合は、総電力量、充電上限、放電下限などの仕様、EV側の設定や操作方法は異なります。EV側の取扱説明書をご確認いただくとともに、必要に応じて各種設定を変更ください。

EVの電力でシステムを起動する手順など、本システムの操作方法については一通りご確認ください。

※車両別に設定を記憶する機能はありません。

補助金申請関連

蓄電システムとしてのパッケージ型番は、パワーコンディショナの取扱説明書もあわせてご覧ください。

お知らせ

●補助金の支給を受けて対象システムを購入した場合、所有者(購入設置者)は、定められた年数の間、当該システムの適正な管理・運用を図る必要があります。本製品をご購入後は故障内容により無償または有償の修理を行いますので、故障の際はお買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご連絡ください。

仕様

項目				
品番		EPS-60V (EPS-60Pとの接続専用) (EPS-60VR (EPS-60PRとの接続専用)	
	定格電圧	DC 350 V		
	動作電圧範囲	DC 150~450) V	
車両入出力部	定格電力	充電時:6.0 kW 放電時:6.7 kW(充放電コネクタ端)		
	最大電流	充放電時:DC 2	5 A	
	ケーブル長	7.3 m(充放電コネクタ	タを含む)	
	定格電圧	DC 360 V		
DCバス入出力部	最大電圧	DC 450 V		
	最大電流	充放電時:DC 2	0 A	
アクセサリー	定格電圧	DC 12 V		
ケーブル入力部	定格電流	DC 6.4 A以下		
	回路方式	双方向絶縁型DC/DCコンバータ		
主回路方式	回路数	1 回路		
	制御方式	電圧型電流制御方式		
	冷却方式	強制空冷		
	待機時消費電力	20 W未満		
	運転音	正面中央 1 m、高さ 1 m :40 dB以下 その他周囲 1 m、高さ 1 m:45 dB以下		
その他特性	据付場所	屋外(直射日光可)、標高2,000 m以下		
「この」に行注	設置温度範囲	−30 ℃~+50 ℃		
	使用温湿度範囲	-20 °C~+50 °C 90% RH以下(結露のないこと)		
	外形寸法	W 420 × H 1,250(ベース部250 を含む) × D 210 mm(突起部隊		
	質量	約55 kg(充放電ケーブルを含む) 約56	kg(充放電ケーブル、専用ケー ブルグランドを含む)	
付属品(お客様保管)		アクセサリーケーブル(長さ 7.5 m) (1)、緊取扱説明書(保証書付き) (1)、かんたんガイ		

[●]他のシステム構成機器の仕様は、それぞれの機器に同梱されている説明書をご確認ください。

■商品構成ごとの充放電電力の目安

商品構成(台数)		平常時(連系運転)		非常時(自立運転)		
蓄電容量	蓄電池ユニット 6.4 kWh屋側	V2Hスタンド	放電電力*3 (交流)	充電電力* ¹ (直流)	放電電力(交流)**3 電源切替盤	充電電力(直流)
 蓄電池なし	O.中 KWII/EIN	1	6.0 kW	6.0 kW	电	6.0 kW
6.4 kWh	1	1	6.0 kW	9.0 kW	6.0 kVA*2	9.0 kW
12.8 kWh	2	1	6.0 kW	12.0 kW	6.0 kVA*2	9.0 kW

- ※1 太陽光発電電力と系統電力を合わせた場合
- ※2 片相3 kVA
- ※3 交流電力は商用電源(平常時)とバックアップ回路(非常時)に対する数値です。リモコンの画面では表示しません。

■移設と廃棄時のご注意

- ・使用後の太陽光発電システムは、関係法令(廃棄物処理法、建設リサイクル法など)に従って産業廃棄物として 速やかに適切に廃棄してください。詳しくは、平成30年12月27日に環境省より公表された「太陽光発電設 備のリサイクル等推進に向けたガイドライン(第二版)」を参照ください。
- ・取り外し、移設、廃棄等を行う場合は、専門技術を要するため、必ずお買い上げの販売店へお問い合わせください。

■商標について

- · 「eムーブ」はパナソニックグループの商標です。
- ・その他、本書に記載されている各種名称などは各社の商標または登録商標です。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・使い方について

お買い上げの販売会社(代理店)またはエリーパワーカスタマーセンターにご相談ください*¹。 リモコンの表示をご確認のあと、直らないときは、システムの運転を停止し、接続箱の開閉器と太陽光発電システム連系ブレーカを OFF にして、下記の内容をお買い上げの販売店・施工店へご連絡ください。

保証書をお手元にご用意いただき、下記内容をご連絡ください。また、『パワーイエ・コネクト ごあんしんサービス』にご加入いただいている場合は、エリーパワーカスタマーセンターにて下記内容の確認が可能です*2。

● 製 品 名:パワーイエ・コネクト

● 型式 / 製造番号: お買い上げの型式および製造番号をお伝えください*3。

● 保 証 開 始 日:保証書に記載の保証書開始日をお伝えください。

● 故 障 の 状 況: 故障が発生した時間帯や症状、点検コードなどをできるだけ具体的にお伝え

ください。

- ※1 太陽電池については、エリーパワー株式会社による修理の対象外となります。太陽電池に関する修理につきましては、 お買い上げの販売会社(代理店)へご連絡ください。
- ※2 ご加入時に上記内容をご登録いただいている場合に限ります。
- ※3 型式および製造番号は、保証書または製造番号ラベルに記載されています。

■保証期間中の修理について

保証期間中は、保証書の修理保証規定に従って修理保証を提供します※。

エリーパワー株式会社またはエリーパワー株式会社が定めた販売会社(代理店)、施工店以外により設置が行われた製品は、修理保証の対象外となるため、修理自体をお断りさせていただくことがあります。

※ 修理保証が適用されない場合には有償での対応となります。

■保証期間終了後の修理について

保証期間終了後は、ご要望により有償にて診断・点検、修理などをさせていただきます。 修理料金は次の内容で構成されています。

修理料金			
点検・診断作業料	弊社指定作業者による訪問料、本製品の点検・診断に伴う技術料、交換、 修理作業料の見積作成などの費用		
修理作業料	弊社指定作業者による訪問料、本製品の修理に伴う部品交換または代替品 との交換作業料、修理に伴う技術料などの費用		
交換部品代または代替品代	交換部品代または代替品代および補助材料費		
訪問に伴う実費	弊社指定作業者を派遣する費用		
運送費	交換部品または代替品の運送費(梱包費を含む)		

■補修用性能部品の保有期間について

エリーパワー株式会社では、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造終了後 10年間保有しています。

修理保証規定

エリーパワー株式会社(以下「弊社」といいます)は、本保証書(以下「本書」といいます)に記載された弊社製品(以下「本製品」といいます)の所有者(以下「お客様」といいます)で本人に対して、以下の条件に従い、修理保証を提供することをお約束します(本書が適用されない場合には有償となります)。

【修理保証の提供期間】

- ・修理保証の提供期間(以下「保証期間」といいます)は、本書の該当欄に記載する通りとします。
- ・保証期間中に部品交換または代替品との交換、修理等がされた場合でも、 保証期間は変更されません。

【保証内容】

- ・保証期間中に、本製品に不具合が生じたとして、お客様がお買い上げの販売店または「エリーパワーカスタマーセンター」(以下「カスタマーセンター」といいます)にご連絡頂いた場合、販売店またはカスタマーセンターでは、お客様からお伺いした現象や使用状況等をもとに切り分け診断(この段階では、電話対応のみとなります)を行います。
- ・前項の定めに基づく切り分け診断の結果、本製品の点検・診断の必要がある と弊社が判断した場合には、弊社指定作業者が本製品の設置場所に訪問の うえ、本製品の製造上の不具合の有無および部品の消耗・劣化状態等につ き、点検・診断を行います。なお、訪問日程(対応可能日・時間帯を含む諸条 件は、弊社規定によるものとします)は、弊社指定作業者がお客様との調整 により決定するものとします。
- ・弊社指定作業者による点検・診断の結果、本製品について本書に基づく部品 交換または代替品との交換、修理等が必要であると判断した場合には、本書 に定める条件に基づいて弊社指定作業者が交換、修理作業を実施いたしま す。なお、作業の実施日程(対応可能日・時間帯を含む諸条件は、弊社規定に よるものとします)は、弊社指定作業者がお客様との調整により決定するも のとします。
- ・弊社は、次の各号に定める費用をお客様に請求することなく作業を実施いたします。なお、いかなる場合にも、本書に基づく作業の履行に代えて、現金をお客様に給付することはいたしません。
- ①点検・診断作業料(弊社指定作業者による訪問料、本製品の点検・診断に伴う技術料、交換、修理作業料の見積作成に伴う費用を含む)
- ②修理作業料(弊社指定作業者による訪問料、本製品の修理に伴う部品交換または代替品との交換作業料、修理等に伴う技術料を含む)
- ③弊社指定作業者の訪問に伴う実費(弊社指定作業者が船舶、飛行機等の交通機関を使用し、または宿泊する必要があると弊社が判断した場合における交通費、宿泊費、日当を含む)
- ④交換部品代または代替品代
- ⑤運送費(弊社指定運送業者による交換部品または代替品の運送費(但し、所定地域内のみ)、梱包費を含む)

【お客様に費用をご負担頂く場合について】

- ・保証期間内でも、下記の各号に定める場合には、点検・診断作業料、修理作業料、弊社指定作業者の訪問に伴う実費、交換部品代または代替品代、運送費は有償となります。但し、故障、損傷、その他の不具合の状態や交換用の製品の在庫状況によっては、点検・診断作業や修理作業自体をお引き受けできないことがございます。
- ①本製品に弊社指定作業者以外による修理、分解、改造、加工が行われた場合
- ②本製品以外の物に対する工事箇所(電線、電源、配管等)により本製品に不 具合が生じている場合
- ③お客様の使用上の誤り、不注意、過失による不具合、故障または損傷が生じている場合
- ④取扱説明書、施工説明書、本体貼付けラベル(梱包箱含)、カタログ等の注意書にもとづいた取り扱いがなされなかったことによる不具合、故障または損傷が生じている場合
- ⑤火災、爆発、戦争、暴動、投石、衝突等外来の事故、異常電圧、自然災害および 天変地変(地震、風水害、落雷、雹、雪氷、雪害、台風、噴火、津波等)により故 障または損傷が生じている場合
- ⑥公害、温泉地等における大気中の腐食性物質等による故障または損傷が生 じている場合
- ②設置後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障または損傷が生じている 場合
- ®定格として定められた入出力仕様の範囲以外の使用環境で使用したことによる故障または損傷が生じている場合
- ⑨設置後の取付場所またはその周辺環境の変化により本製品に故障または損傷が生じている場合
- ⑩性能や機能に影響を及ぼさない経年変化、さび、カビ、腐食、変質、変色、色調の変化、音、振動、キズ、汚れその他の類似する事由が生じている場合
- ①鳥糞、ネズミ食い、虫食い等の動物や虫類、植物の侵入、異物混入その他の類似する事由が生じている場合
- ⑫本書の提示が無い、あるいは本書の字句が書換えられている場合
- ③不具合、故障または損傷等を原因として損害保険金、損害賠償金を受け取られた場合
- ⑭弊社出荷後の、対象機器やその部品の保管・移動や施工不良による仕上げのキズ等の不具合
- (5)保証期間経過後に申し出があったもの、または保証対象事由の発生後、速やかに申し出がなかった故障、損傷その他の不具合
- ⑯蓄電池の日常使用可能容量に対し1日1サイクルを超えて、日常的に使用されていることが確認された場合
- ⑦停電と同様の状態で日常的に使用されたことが確認された場合

- ・前項に定めるほか、下記の場合には、お客様に点検・診断作業料、弊社指定作業者の訪問に伴う実費、運送費をご負担頂きます。
- ①本製品の設置場所で点検・診断を行った結果、本製品に不具合が生じていないと弊社が判断した場合
- ②本製品の設置場所が離島や離島に準ずる遠隔地、その他運送用車両による通行が困難な地域である場合
- ③弊社指定作業者が設置場所を訪問したにもかかわらず、お客様の責めに帰すべき事由により作業を実施できず、再訪問する場合
- ・弊社指定作業者による点検・診断時に部品交換または代替品との交換が有償となることが判明した場合には、お客様のご了承を得たときに、部品交換もしくは代替品との交換作業を実施いたします。また、この場合において作業の依頼をとりやめられるときでも、点検・診断作業料および弊社指定作業者の訪問に伴う実費はお客様のご負担となります。

【修理をご依頼頂くにあたってのご注意】

- ・お客様は、本書に基づく業務を行うために弊社指定作業者が本製品の設置場所に立ち入ることを認めると共に、弊社指定作業者が業務を行うために必要とする電力等の消費に係る費用、消耗品、作業場所(作業車両のための駐車場所を含む)を無償で提供するものとします。
- ・本製品が他の機器と接続されている場合、接続されている他の機器の動作停止作業ならびに本製品からの取り外しは、お客様にて販売店にご相談のうえ、ご対応頂きます(本製品と建物側分電盤とを接続するケーブル類の取り外し作業が発生する場合には、別途、お客様とご相談させて頂きます)。
- ・本書に基づく業務を行うために工事(電気工事、アンカーボルトの再設置を含む)が必要となる場合は、別途、お客様の費用負担により専門業者に工事を依頼して頂くことがあります。
- ・交換、修理作業は、天候等の関係で中止・延期される場合があります。
- ・交換作業により取り外した部品や代替品と交換した製品は、弊社が回収します。なお、部品交換に際しては、弊社の品質基準に適合した再利用部品もしくは同等の機能を有する別部品を使用することがあります。
- ・代替品が提供された場合は、修理依頼された本製品の所有権は、当該代替品の提供と引換えに弊社に移転するものとし、弊社は、爾後、かかる本製品をお客様に返却する義務を一切負わず、これを任意に処分することができるものとします。
- ・代替品に関しては本製品と同一型番の製品の提供を行います。また、代替品は、弊社の品質基準に適合した再利用品を使用することがあります。但し、製造中止等の理由により同一型番の製品の入手が困難な場合は、同等機種をもって代替品とします。なお、代替品の提供にあたり、お客様は弊社に対して機種、型番等の指定を行うことはできません。
- ・本製品の点検を行う場合におけるリチウムイオン電池の劣化判定は、弊社の 基準にて実施するものとします。

【権利の喪失】

- ・保証期間中といえども、次のいずれかに該当する場合、本書にもとづく無償修理を請求できる権利および受けられる権利は自動的に喪失します。
- ①本製品が滅失した場合
- ②弊社指定作業者以外により本製品を移設した場合
- ③弊社が、本製品について、部品交換または代替品との交換等の対応を施して も機能の維持が困難であると判断した場合

【本製品を譲渡する場合について】

・お客様が本製品を第三者に譲渡する場合は、弊社にユーザー登録情報の変更 を通知するものとします。お客様のユーザー情報が登録されていない、または 譲渡を受けた第三者がユーザー登録情報を変更していない場合は、当該第三 者は、本書にもとづく無償修理保証を受けることはできません。

【免責事項

- ・本製品の設置・施工工事については本保証の対象外です。
- ・弊社は、本製品の不具合、故障または損傷に起因して本製品以外に生じた不 具合、故障および損傷(機器内記録データの損失を含む)ならびに本製品が使 用できないことによる発電量損失や関連して発生したお客様の損失および不 利益(電気代、売電収入の減少等)の補償は一切いたしません。
- ・本保証の履行に関連して弊社の責に帰すべき事由によりお客様に損害が発生 した場合には、弊社の支払う損害賠償、その他一切の責任は、本製品の代金額 (弊社もしくは販売店が受領した合計額)を上限とします。
- ・本書は、日本国内においてのみ有効です。
- ・本書の内容は、やむをえない事情があるときは、予告なく変更される場合があ ります。

【お客様の個人情報の取り扱い】

・お客様の個人情報は、弊社の「個人情報保護方針」に従って取り扱うものとします。詳しくは、弊社ホームページ(https://www.eliiypower.co.jp/)又は「お客様へのご案内」をご覧ください。

【合意管轄裁判所】

・本書に関するお客様と弊社との間の紛争については、東京地方裁判所をもって第一審における専属的合意管轄裁判所とします。

(制定日:2024年4月30日)

V2Hスタンド 保証書

本保証書(以下「本書」といいます)は、エリーパワー株式会社(以下「弊社」といいます)が、本書に記載された製品(以下「本製品」 といいます)の所有者(以下「お客様」といいます)ご本人に対して、本書に定める保証期間中に修理保証規定に基づく保証を提供 することをお約束するものです。本書によってお客様の権利を制限するものではありません。本書をお受け取りになるときは、お 引き渡し日・販売店名・品番が記入されていることを必ず確認してください。なお、本書は再発行致しませんので大切に保管して ください。

製品名称	POWER iE Connect	お 引 き 渡 し 日		年	月	日
品 番	該当する品番をチェックしてください □ EPS-60V □ EPS-60VR	製造番号				
	お名前様		販	売店名・住所	・電話番号	
お客様	で住所	販 売 店				
	電話番号 () -					
保証期間	・お引き渡し日から1年間					

パワーイエ・コネクト長期保証のご案内

本製品では、弊社がサービスを提供している、インターネットを使った蓄電システムの遠隔モニタリングサービス (以下、「ごあんしんサービス」)に登録し、ご利用いただくお客様に下記の長期保証をご提供いたします。

- ●ごあんしんサービスの登録方法は、蓄電池ユニットに同梱している「お客様へのご案内」をご確認ください。
- ●ごあんしんサービスにご登録いただいたお客様には、弊社から「長期保証登録完了通知書」をお送りしますので、 本保証書と合わせ大切に保管してください。

【長期保証内容】

保証期間:お引き渡し日より15年間

(充放電コネクタ・ケーブルは、お引き渡し日より10年間または挿抜回数1万回のいずれか早い方の期間)

商品の情報はホームページでご確認ください。

エリーパワー

検索 https://www.elijypower.co.jp/

使用方法・ 修理などのご相談は

エリーパワーカスタマーセンター

【営業時間】9:00~21:00

0120-631-663

- ・お電話番号はおかけ間違えのないようご注意ください。 ・お問い合わせの前に保証書をお手元にご田音ください。
- ・予告なく連絡先が変更される場合がございますので、
- ご了承ください。

●改良のため予告なく変更することがあります。●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。●本書に記載のイラストは説明のた め簡略化していますので、実際のものとは多少異なります。●無断転載を禁じます。●落丁、乱丁本は、お取替えします。●エリーパワー、ELIIY POWER およびパワーイエ、POWER iE の名称・ロゴはエリーパワー株式会社の登録商標または商標です。●e ムーブはパナソニックグループの商 標です。●記載の製品名および会社名は各社の商標または登録商標です。

エリーパワー株式会社

社:東京都品川区大崎 1-6-4 新大崎勧業ビルディング 19階 関西営業所:大阪市中央区南船場 3-6-10 エミネント心斎橋ビル3階

Copyright © ELIIY Power CO., Ltd. All rights reserved.

発行日: 2024年4月